

廃棄物学会春の研究討論会 埋立部会企画

15:15 ~ 17:15

**安全安心・持続可能な埋立処分
場を創る**

現状(用地確保困難、不適正埋立地)の解決 + 循環型社会への対応

(環境負荷低減・負の遺産解消) のために
新しい埋立地パラダイム「安全安心・持続可能埋立地」への転換

- 田中: 何を目指すのか
- 松藤: 世界の取り組み状況
- 大迫: 埋立地内の土壌化の意味
- 山田: 産業廃棄物埋立地の課題・対策

安全と安心

- **安全** : 科学的に安全性と合理性が、専門家によって確認される。

専門家間でのリスクコミュニケーション

- **安心** : 非専門家に、直感的に安全性と合理性が納得できる。

安全のためのハード技術だけでは解決難
パラダイムの転換 : あり方の転換が必要

何が論点なのか

- 埋立地の**時間スケール: 寿命**が問題
- 今までは、「土の中に**恒久的に**閉じこめる」
- **数世代で環境に還元**する(土に戻る)埋立地
安全・安心につながる
埋立地は空間の浪費ではない
土地として**循環利用**される
持続的な社会に必要な**都市基盤施設**
(埋立ゼロは目標でない)

どうすればよいのか(提案)

- 「土の中に閉じこめておけば何とかなる」
- 「埋立処分は廃棄物処理の最後の砦」
- 「埋立質の制御」により、数世代で土壌に還元できる物のみ埋める。土壤汚染対策法に適合した土地
- 埋め立てられない物(負の遺産とならない物)は、「長期保管」を定義して、建屋内に保管する。

循環型社会の廃棄物処理像

- 全物質ライフサイクルが最適化される。
- 物質循環には、生態系大循環(Cycle)と、人為的循環(Recycle)がある。
- 廃棄物処理とは、不用物を、大循環に乗せる(環境還元)のか、人為的循環(資源循環)に乗せるかを決めることである。
- 適正処分における環境還元とは、大気圏、水圏、土圏への還元を、元素毎に定義することである。そして、土圏への還元を埋立処分という。